



工業会

The Japanese Association For Non-Destructive Testing Industry (JANDT)

発行元 一般社団法人日本非破壊検査工業会
 〒101-0047
 東京都千代田区内神田2丁目8番1号 富高ビル3F
 電話 03-5207-5960 FAX 03-5207-5961
 URL : <https://www.jandt.or.jp/>
 編集 : 広報部会

令和6年度 定時総会を開催

6月10日、東京都千代田区内の如水会館において第27期第53回定時総会が、正会員146名（内委任状93名）が出席し開催された。

総会に先立ち、長岡康之理事長は「国土交通省が発表する設計業務委託等技術者単価に倣い標準積算資料の直接人件費をアップした。単価交渉に当工業会一丸となって取り組むことで単価アップを実現し、このような活動を通して、魅力ある工業会であること及び会員企業が発展されることを祈念する」と挨拶した。総会では、令和5年度の事業報告と財務諸表及び監査報告並びに第27期理事・監事の選任について審議され、満場一致で承認された。続いて令和6年度事業計画・収支予算書が報告された。

その後の懇親会では、各界から130名を超えるご出席をいただいた。開会に先立ち、太田昭宏元国土交通大臣は「笹子トンネル天井板崩落事故の2012年に国土交通大臣に就任し、2013年度のスタートには、防災・減災・老朽化対策・メンテナンス・耐震化をスローガンに予算を確保した。それから10年、その中核を担う皆様のお陰で今日の社会インフラの安心安全が確保されている。今後の更なるご活躍を祈念する」とご挨拶をいただき懇親会が開催され、主催者を代表して長岡理事長は「国交省と厚労省が連携した助成金として建設事業主等を対象としたものがあるが、建築物には点検・診断・検査が不可欠、非破壊検査業もその対象となるよう官公庁に働きかけて行きたい。また、会員企業協力のもとこの制度を活用し人材の採用・育成に繋げたい」と挨拶した。ご来賓を代表して、公務のため欠席となった斉藤鉄夫国土交通大臣に代わり、国土交通省の吉岡幹夫技監より「国交省ではi-Construction 2.0を掲げ建設現場の効率化・生



定時総会のもよう



懇親会のもよう

産性向上に取り組んでいる、皆様のご協力のもと非破壊検査技術を活用し、この取組みを進めて行きたい」とご祝辞をいただいた。続いて、公明党非破壊検査技術振興議員懇話会会長の秋野公造参議院議員より「予防保全の考え方が今ほどに浸透していないことから、非破壊検査の重要性と予防保全の考え方によるインフラの質を確保してきた我が国のトップランナーである非破壊検査業界と公明党が、手を携えてきたことを誇りに思う」と、経済産業省製造産業局の安田篤産業機械課長は「成長型経済への転換を推し進めている経産省として、DX・GX・国内投資は重要な施策であり、水素社会の実現等に向けた産業施設の安全性・メンテナンスには非破壊検査技術が必要であり、今後ともご協力いただきたい」と、日本非破壊検査協会の落合誠副会長からは「当協会は非破壊検査工業会と日頃から連携しており、資格認証制度においても連携を強めている。今後ともよろしくお願ひしたい」とご祝辞をいただいた。乾杯のご発声は、日本溶接協会の栗飯原周二会長より「溶接業界では人手不足が重要課題であり、非破壊検査業界でも課題であると推察する。解決に向けて協力して行きたい」とご挨拶をいただき、乾杯の掛け声と共に懇親会が盛大に行われた。

宴たけなわの中、当工業会の清水重之副理事長の三本締めで中締めとなった。



長岡康之
理事長

太田昭宏
元国土交通大臣

秋野公造
参議院議員

吉岡幹夫
国土交通省技監

安田篤
経産省製造産業局
産業機械課長

落合誠
JSNDI副会長

栗飯原周二
JWES会長

清水重之
副理事長

本年度総会での表彰

工業会賞	<p>岡 賢治 氏 (株式会社検査技術研究所)</p> <p>(表彰理由) 第19期～第21期理事、第22期～第26期副理事長、第19期～第23期機材支部長、第22期～第24期認証部会長。支部活動として技術講習会開催等に注力、配筋探査技術者及びインフラ調査士認証事業の基盤整備・拡大やインフラ点検技術講演会の開始、副理事長として工業会の事業運営に深く係わり、非破壊検査技術の普及及び当工業会の発展に貢献されました。</p>
	<p>塩山 哲生 氏 (塩山会計事務所)</p> <p>(表彰理由) 第14期(1999年)～第26期監事。審査登録機関取消等による財政逼迫状況解消への組織体制・事業内容の見直しと助言、一般社団法人移行に伴う会計基準改正や公益目的支出計画の立案・管理・監査等の対応と助言・指導、理事の職務執行に対する監査・指導に注力し、永年にわたり当工業会の財務および運営の健全化に貢献されました。</p>
功労賞	<p>錦戸 陽介 氏 (株式会社日本工業試験所)</p> <p>(表彰理由) 第24期～第25期理事、第26期副理事長、第24期～第25期教育副部会長、第26期認証部会長。教育及び認証事業運営に深く係わり、UT-2 eラーニング講習の立上げや認証各委員会活動の活性化及びインフラ調査士補資格創設等に尽力するなど、当工業会の教育および認証事業の活性化に貢献されました。</p>
技術奨励賞	<p>佐藤 賢治 氏 (株式会社シンワ検査)</p> <p>(表彰理由) 車両上部に高感度冷却型赤外線サーモグラフィとハイスピードカメラを複合搭載することで、遠方からの橋梁診断技術を確立し、工期短縮と点検精度向上を図る走行型赤外線調査車両を開発し、その事例を開発委員会で報告するなど、非破壊検査技術の普及と技術向上に貢献されました。</p>

第27期(令和6年・令和7年度)新任役員のご紹介 (敬称略)

【副理事長 堀 充孝 (日本電磁測器 取締役 技術統括)】

第27期副理事長に就任いたしました堀充孝でございます。日頃から会員の皆様には、当工業会の諸活動にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度から機材支部長及び副理事長の大役を仰せつかり、長岡康之理事長、清水重之副理事長、埜晴行専務理事および理事・監事の皆様からの叱咤激励・ご協力の下、諸先輩方が築き上げてこられた当工業会の事業を通じ、会員の皆様がこの業界において活躍する一助となるよう努めて参ります。引き続き、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



【広報部会担当 日比 和彦 (KS-NET 代表取締役社長)】

第27期の新任理事に就任いたしました日比和彦でございます。微力ではございますが先輩理事ならびに会員方々のご指導・ご協力を賜りながら、工業会発展のため努力いたす所存でございます。今後は広報部会という立場から、会員及び業界の方々へのサービス向上を目的に、工業会HPの見直しなどSNSでの情報発信の充実を図り、業界の周知も含め幅広く活用していただけるよう推進していきたいと考えております。会員各社様のご協力を心よりお願い申し上げます。



【認証部会担当 山中 伸晃 (アイ・エム・シー 代表取締役社長)】

第27期の新任役員に就任しました山中伸晃でございます。長岡康之理事長及び諸先輩理事の方々並びに会員各社からの助言を頂き、微力ながら工業会活動を行ってまいります。よろしく願いいたします。非破壊検査業界も半世紀が過ぎ、業界各社の世代交代も進み、検査技術や検査機材が発展進歩するなか、技術伝承や若い技術者の育成を行い、また、インフラを含め検査の重要度が増すなか、社会の安心安全の確保に不可欠な業界となりましたが、まだまだ業界の認知度と地位向上に貢献できるように、頑張りたいと思っております。



【監事 岡 賢治 (岡検査技術事務所 所長)】

先般の定時総会において副理事長を退任し、新たに監事に選任され、引き続き当工業会の運営に務めさせていただくことになりました。工業会の会員の皆様には日頃から諸活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。20数年に亘り監事を務められ、その間に財務および運営の健全化に貢献された塩山先生の後任として、その路線を引継ぎ、理事・監事の皆様との協力体制にて、工業会運営の実施に努めて参りますので、引き続き、皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



第27期(令和6年・7年度)会務担当/顧問・参与(令和6年定時総会から令和8年定時総会まで/敬称略)

役職名、担当部門	氏名 ※[]内備考(特記事項)
理事長	長岡 康之 [代表理事、全体統括]
副理事長	清水 重之 [理事長代行(認証、安全)]
	堀 充孝 [理事長補佐(技術)]
専務理事	塙 晴行 [理事長補佐、常勤、事務局長]
総務部会	部会長 長岡 康之 [理事長]
	副部会長 清水 重之、堀 充孝 [副理事長]
広報部会	部会長 富田 裕樹
	副部会長 日比 和彦
技術部会	部会長 安田 裕之
	副部会長 出牛 利重、中村 英之
教育部会	部会長 坂本 敏弘
	副部会長 的場 正文、野口 博文
認証部会	部会長 渡邊 正宏
	副部会長 中村 英之、山中 伸晃

役職名、担当部門	氏名 ※[]内備考(特記事項)
安全部会	部会長 猿渡 保
	副部会長 出牛 利重
東日本支部	支部長 小田原 勝彦
	副支部長 安田 裕之
関西支部	支部長 的場 正文
	副支部長 山中 伸晃
西日本支部	支部長 清水 重之
	副支部長 野口 博文
機材支部	支部長 堀 充孝
	副支部長 日比 和彦
監事	岡 賢治、小池 幸洋
顧問	松村 康人
顧問	小倉 幸夫
参与	八木 洋兒

退任役員からのごあいさつ (敬称略)

【錦戸陽介前副理事長】

第26期の副理事長及び認証部会長を務めさせていただき、大過なく任期を終えることができたのは、関係者の皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。部会では、配筋探査・インフラ調査士資格試験関連の委員会が多数存在し、都度ウェブ会議でモニターとのにらめっこが続く日々が一番辛いところでした。しかしながら、事務局スタッフの頑張りにより認証制度が維持されていることを改めて感謝申し上げますと共に今後の活躍を期待します。

【美濃部光正前理事】

先般の定時総会をもちまして理事を退任いたしました。一期二年という短い期間でしたが理事として工業会の運営に参画させていただきいろいろと学ぶことが多く大変勉強になりました。また、工業会発展のために長年理事を務められている方々のご苦勞を感じました。皆様方には大変お世話になり心より感謝申し上げます。今後は機材支部の一幹事として支部活動に微力ながら尽力してまいりますので引き続きよろしくお願い申し上げます。

【岡賢治前副理事長】

第22期～第26期の副理事長を務めさせていただきました。工業会の会員の皆様には日頃から諸活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。松村康人前理事長からの長岡康之現理事長及び理事・監事の皆様との協力体制にて、その時々に応じた運営組織の改革を実施して弾力的な工業会運営の実施に努めて参りました。後任の清水重之副理事長、堀充孝副理事長にバトンを渡し、引き続き皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【塩山哲生前監事】

20数年に亘り監事を仰せつかって参りましたが、在任中にも姉歯事件や笹子トンネル事故、東日本大震災を始めとした数々の自然災害にも見舞われました。このような事件・事故や災害に遭遇する度に、インフラ整備の重要性を認識するとともに、これに非破壊検査業務が重要な役割を果たしていると痛感させられました。そして安心・安全な社会の実現には、これからも益々必要とされる業務であると確信しています。皆様、長い間どうも有り難うございました。

K 経験豊富な実績

E 笑顔で、業務に取り組みます

I いつでもどこでもあらゆるニーズにお応えします

放射線透過試験/超音波探傷試験/磁粉探傷試験/浸透探傷試験
過流探傷試験/漏れ探傷試験/レーダー探査/気密・耐圧試験

 京浜検査工業株式会社

原子力規制委員会使用許可・CIW認定業者

本社：横浜市金沢区福浦2-6-10

TEL：045-701-2072 FAX：045-784-4100

山形営業所：山形県南陽市若狭郷屋253-2

TEL：0238-43-8100 FAX：0238-43-8108

お客様に寄り添い共に協力して

迅速かつ正確な検査サービスを提供し

安心安全な環境作りをモットーに企業活動して参ります

 新東技検株式会社

ShintoGiken <https://www.shinto-giken.co.jp/>

本社 〒224-0054 横浜市都筑区佐江戸町393番地6

TEL 045-929-1533(代) FAX 045-929-1534

埼玉出張所 〒367-0042 埼玉県本庄市けや木2丁目3番1号

TEL 0495-21-1946 FAX 0495-23-3928

「インフラ点検技術講演会」開催

昨年に引き続き当工業会は4月24日、川崎市幸区の川崎市産業振興会館において「定期点検の見直しと点検の最新技術」をテーマに「インフラ点検技術講演会」を開催した。3月に公開された定期点検要領の見直しと最新の点検技術について、各界の第一人者による講演会に134人が参集した。

主催者を代表して長岡康之理事長は「地震等の自然災害に備えることは重要であり、ましてや社会インフラの点検・整備・補修は言うまでもありません。本日の講演会は、インフラ点検の最新技術や知識・技量の向上に最適なプログラムとなっており、日頃の点検業務に役立ててください」と述べた。続いて共催いただいた、川崎市産業振興財団の高梨憲爾産業支援部長は「インフラの老朽化が社会問題化する中で、長寿化の計画的補修には人手不足や予算不足等の問題があり、ロボット・ドローンやAI・DXを活用した効率的な危険個所の見極めが重要です。本日の講演内容を持ち帰り事業に取り入れていただければ幸いです」と挨拶された。

午前の部は、「インフラ点検事例紹介」と題し、株式会社ジャストの高谷充晃主任より橋梁定期点検調書作成支援システム「タテログ」の紹介があり、同じく森田修平技術主幹によるUAVを用いた海上橋梁点検（新交通システムの高架橋）の作業手順及び注意点などについての講演が行われた。続いての講演は、「新たな非破壊検査!- 理研小型中性子源システムRANSが拓く世界-」と題し、理化学研究所客員研究員である株式会社ランズビューの高村正人代表取締役並びにニュートロン次世代システム技術研究組合の大石龍太郎理事より、カリフォルニウム (Cf) 線源を利用した非破壊塩害検査装置「中性子塩分計」及び塩分濃度検査システムと、塩害の予防保全に向けた現場適用に関する事例紹介などが行われた。

午後の部は、京都大学の太西有三名誉教授による



講演会のもよう

「点検における問題点や課題、および対応策について」と題した講演では、笹子トンネル事故を契機に社会資本の老朽化と維持管理がクローズアップされたが、技術者・技能者の不足、予算不足などに直面している。基本は近接目視であるが、画像解析・ICT・IoT・AI等の利活用による人材不足等への対処、更に生産性向上ツールとしてBIM/CIM等を用いた3次元モデルが提唱された。続いての講演は、「DX技術によるインフラ点検・診断イノベーション」と題し、パシフィックコンサルタンツ株式会社の安田亨技術理事は、DX技術・空間情報活用によるインフラマネジメントとして、NETIS登録の点検支援技術を活用し、トンネル点検・診断支援技術としてのAI(画像解析)・レーザ・レーダによる3次元可視化技術などについて講演した。

講演会の最後は、国土交通省道路局国道・技術課の増竜郎企画専門官より「定期点検(法定点検)の見直しについて」と題し、令和6年に直轄道路橋の定期点検が3巡目を迎えるにあたり、2巡目の総括とその対応を検討し、課題となる定期点検の質の確保及び記録の合理化等の3点を改定し、その改定の経緯及び概要についての講演で締めくくられた。

閉会に際し、当工業会の岡賢治副理事長は「今回の講演会が各企業の発展に資すること、更にDX化の流れの中で、インフラ点検の最前線や最新の技術動向に関する知見が深まれば幸いです」と挨拶し、講演会は盛会のうちに終えた。



長岡康之
理事長



高梨憲爾
産業支援部長



森田修平技術主幹
(ジャスト)



高谷充晃主任
(ジャスト)



高村正人代表取締役
(ランズビュー)



大石龍太郎理事
(ニュートロン次世代システム
技術研究組合)



太西有三名誉教授
(京都大学)



安田亨技術理事
(パシフィックコンサルタンツ)



増竜郎企画専門官
(国土交通省)



齋島洋伸課長補佐
(国土交通省)



岡賢治
副理事長

東日本支部 令和6年度 支部大会を開催

6月20日、東日本支部の支部大会が参加者19名のもと愛知県名古屋市の「東京第一ホテル錦」で開催された。小田原勝彦支部長は、日頃からの工業会活動へのご理解・ご協力への謝辞と、今年度より支部長に就任したこと及び

今年度の支部大会がこの地で開催されることについての経緯を述べた。また、非破壊検査業界を取巻く状況に触れ「人手不足が深刻化している状況にある中、各社ともに求人について厳しい状況を通り越し、お手上げ状態ではないか。これらの改善の見通しもない中であるが、更に会員間の情報交換や協力体制を強めていただければ幸いである」と挨拶を行った。令和5年度の事業報告及び令和6年度の事業計画の報告が行われたのち、場所を移して懇親会が行われた。和やかな雰囲気の中での歓談は、長岡康之理事長のご挨拶をもって中締めとなった。なお、支部大会の合間を縫って、伊勢神宮・トヨタ産業技術記念館・名古屋城の名所旧跡を巡る旅程を組み込んだ、大会日程であった。



伊勢神宮内宮を参拝

小田原勝彦
東日本支部長

関西支部 令和6年度 支部大会を開催

6月20日、令和6年度の関西支部大会が、福井県あわら温泉の清風荘にて参加者25名のもと開催された。山中伸晃副支部長の開会宣言に続き、的場正文新支部長は、工業会及び支部活動への各社の協力に謝辞を述べ後、「世界中で

地政学的緊張や自然災害が発生し経済や産業に深刻な影響を及ぼしているが、非破壊検査業界は堅調な成長を遂げている。反面、人材不足が深刻化し、技術者不足が業界全体に影響を及ぼしている。関西支部として若手の育成や技術者のキャリアパスの構築に注力し、業界の持続的な発展を支えるための基盤を築いて参りたい。人材不足等の課題に直面しながらも、非破壊検査に関する講習会・セミナー等を実施し、技術者の育成と業界の発展に貢献して行きたい」と挨拶を述べた。大会は、令和5年度の事業及び決算報告並びに監査報告、令和6年度の会務担当及び運営体制や事業計画並びに収支予算報告、令和5年度の各種表彰が行われ終了した。最新の検査機器としてKS-NETから次世代型DX対応の超音波装置USM100が紹介された。

会場を移した懇親会は、岡村視巧幹事の司会進行のもと、川崎博義幹事の開会挨拶と乾杯の音頭で開宴した。和やかな歓談で親睦を深め、神林吉治幹事の中締めにより閉会した。



関西支部大会のもよう

的場正文
関西支部長

機材支部 令和6年度支部大会を開催

機材支部は、6月14日に大田区産業プラザにおいて15社36名出席のもと支部大会を開催した。

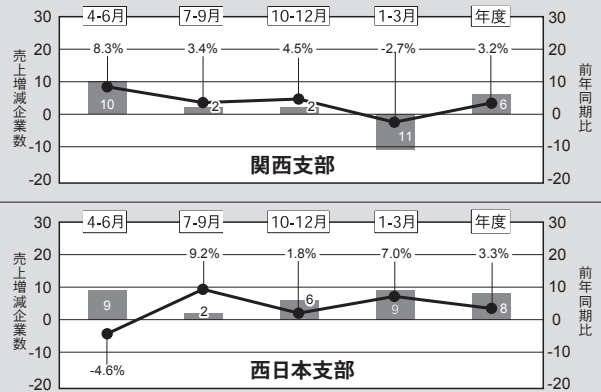
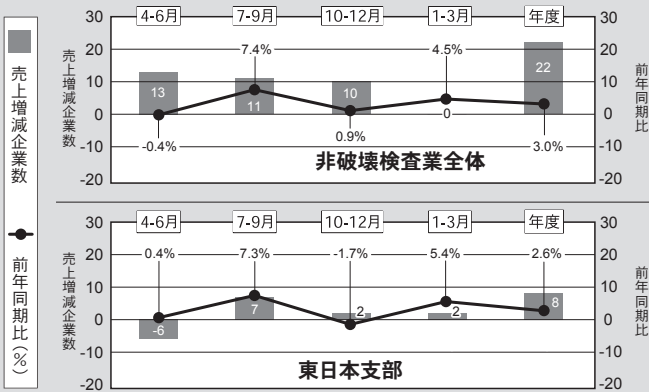
林利昭幹事の開会宣言の後、第27期支部長に就任した堀充孝支部長は「昨年度の支部活動が5類感染症移行に伴い、非破壊検査の普及と振興の一助となる講習会等を期初計画通り開催する事ができ、会員のご協力の賜物と深く感謝する」と謝辞を述べた。また、就任にあたって、各委員会及び分科会の位置付け並びに講習会活動についての抱負と方向性を語った。続いて、令和5年度の事業報告及び監査報告等並びに令和6年度の会務担当役員及び事業計画等の報告、令和5年度表彰者発表が行われた。特別講演は、昭和製作所の舟久保利明会長により「私の経験からの四題断」と題し、中小企業の技術革新を支える「ものづくり助成金・補助金」や中小企業の慢性的な人材不足対応として「キャリア教育」・「外国人労働者」の活用等の4つの実経験についてご講演いただいた。最後に10年以上となる監査役としての私見を披露するなど有益な講演であった。

場所を移しての交流会は、猿渡保理事の開会挨拶の後、佐藤育男幹事の乾杯の音頭で開宴した。会員同士の情報交換と親睦の輪が広がり、美濃部光正幹事の中締めで散会となった。

堀充孝
機材支部長【特別講演】
昭和製作所
舟久保利明会長

各支部会員
会社の景況感

定期月次売上調査の集計結果を前年同期比として纏め、下図に示す。売上増減企業数は、前年同期に対して売上の増加した企業数から、減少した企業数を減じた企業数を表す。また、前年同期比は、各支部の前年度売上高に対しての増減の割合を表す。



アンカー工事
スタッド
ハツリ
耐震補強

引張試験
レントゲン
鉄筋探査

ダイヤモンド販売
ハンドカッター販売
カップサンダー販売
道路用ブレード販売

ギス打設
ドコヤ
アマモ

社団法人日本建設あと施工アンカー協会加盟
中央総業株式会社

神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1 中央総業ビル4F
☎ 0120-07-1222 FAX 0120-07-5585

JEC 日本エンジニアリング株式会社

- ◇ 鋼、コンクリート構造物の調査・各種試験
- ◇ 各種プラントの目視検査・非破壊検査
- ◇ その他非破壊検査業務全般

〒210-0012
川崎市川崎区宮前町7番15号

TEL 044-245-8311
FAX 044-245-8318
E-mail jec@nihoneng.jp
URL http://nihoneng.jp/homepage/

未来を見守る
確かな技術

安全で安心な
生活環境を
目指して
非破壊検査と焼鈍工事の

ユキビルド 株式会社

〒210-0808 川崎市川崎区旭町1-9-10
TEL:044-222-3222 FAX:044-201-6532

お客様と社員に信頼される
企業でありつづける

溶接検査株式会社

本社：〒985-0874
宮城県多賀城市八幡2-16-10
TEL：022-365-6040
FAX：022-366-3556
URL：http://yosetsukensa.com

出張所：青森・山形・秋田

技術と信頼であらゆるニーズにお答えします
"High Quality Inspection Service"

株式会社 アイ・エム・シー

事業内容 ■ 非破壊検査全般 ■ タンク・プラント保守検査
■ インフラ点検全般 ■ 品質管理業務

認定 (一社)日本溶接協会(CIW)認定 A種
ISO9001 認証 JMAQA-1790
一般建設業許可 国土交通大臣許可(般-1)第23267号 他

本社 〒652-0898 神戸市兵庫区駅前通5丁目3番14号
TEL 078(577)3691 FAX 078(576)2008
URL https://imc-ndi.com

事業所・作業所 千葉事業所/中部事業所/関西事業所

CIW 認定 A種 想像から創造へ 今感動の技術
労働者派遣事業許可
ISO9001 認証 JMAQA-1749

株式会社 ダンテック

- 非破壊試験検査全般
- 各種プラント保守点検
- 品質管理
- 建築・土木構造物調査診断
- 各種設備・配管劣化調査
- 破壊試験・化学分析等材料試験

本社 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目14番13号
TEL.06(6354)3641 FAX.06(6354)2707

新入社員のための非破壊検査基礎講習会

機材支部計測分科会(清良平委員長)は、東日本支部技術委員会の協力を得て4月18～19日の両日、川崎市川崎区の日本溶接技術センターにて「新入社員のための非破壊検査基礎講習会」を開催した。非破壊検査の基礎及び理解・普及を目的とした講義と実習で構成した講習会は、毎年定員を超える応募があり、今回も定員に達する24名が受講し盛況であった。



座学講習のもよう

非破壊検査「標準積算資料」第13版を発刊

広報部会標準積算資料検討委員会(藤井富昭委員長)は「標準積算資料」第13版を本年6月発刊した。主な改訂として、試験手順に日本非破壊検査工業会規格(NDTS 1203:2023)「コンクリートの放射線透過試験手順書」を新たに掲載したことや、国土交通省が発表する設計業務委託等技術者単価に倣った直接人件費の見直し及び第12版以降の急激な円安・原材料高等を単価に反映した。



本部

会員動向 令和6年6月30日現在 196社(東日本支部77社、関西支部43社、西日本支部43社、機材支部33社)

入会

- 機材支部 KEYTEC株式会社 代表取締役 岩田 和彦
〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル11F1114号室
電話:078-200-5217 FAX:078-200-5227 E-mail:info@key-t.co.jp (令和6年4月1日付)
- 賛助会員 日本精工株式会社 細川 尊
〒141-8560 東京都品川区大崎1-6-3
電話:0466-21-3360 FAX:0466-21-3361 E-mail:hosokawa-t-9005@nsk.com (令和6年5月1日付)

退会

- 関西支部 株式会社ウィズソル(令和6年4月15日付)
(支部協力員)



CIW検査事業者認定 C種
労働者派遣事業

安全を見つめています

アトミックス工業株式会社

営業種目:非破壊検査全般
インスペクター・品質管理
各種監督業務・調査業務等

本社 〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井1-28-45
TEL 082-870-3131 FAX 082-870-3210
URL <http://www.atm-kogyo.co.jp/>
E-mail honsya@atm-kogyo.co.jp

福山営業所 〒721-0963 広島県福山市南手城町3-17-17
TEL 084-928-4533 FAX 084-944-5005
E-mail fukuyama@atm-kogyo.co.jp



“診る”を究めて
人と技術を「安全」という強固な絆で
結び、「安心」を提供します。

新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号
TEL:093-581-1234 FAX:093-581-4567

東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-9
aLATO日本橋小伝馬町 3階
TEL:03-6661-1307 FAX:03-6661-1308
<https://www.shk-k.co.jp>




**住重アテックスは、
試験検査技術のエキスパートとして、
社会に産業に貢献します。**


調査・診断・非破壊検査サービス

- ・フェーズドアレイUT法
- ・ドローン点検
- ・デジタルX線
- ・高所点検ロボット
(目視・肉厚測定)
- ・3Dレーザ計測

Acceleration Technology and Examination



住重アテックス株式会社
本社所在地
〒799-1393 愛媛県西条市今在家1501
TEL: 0898-64-6934 FAX: 0898-64-6959
各拠点: 東京、神奈川、千葉、愛知、岡山、愛媛



EVIDENT

OmniScan 史上最高スペック登場
OmniScan X3 と同じ大きさの筐体で 64:128PR 仕様を実現



OmniScan シリーズの最高峰
omniscan X3

64 素子同時励振 (TFM は 128)
小型 (約 6kg) ・タフ設計
リアルタイム PCI※対応
※PCI: 位相コヒーレンスイメージング

株式会社エビデント ☎0120-58-0414 (フリーダイヤル) www.EvidentScientific.com

2024年前期 インフラ調査士資格試験を実施

5月16日インフラ調査士資格学科試験(一次試験・再試験)が東京・大阪で同時に行われた。

【学科試験】新規受講・受験者数：70名、再試験者数：34名

【二次試験】8月1日～2日 試験会場：川崎市産業振興会館(神奈川県川崎市幸区堀川町66-20)

資格	橋梁(鋼橋)	橋梁(コンクリート)	トンネル	付帯施設
受験者数	79名	84名	83名	96名
合格者数	64名	56名	67名	67名

2024年前期 配筋探査技術者資格試験を実施

5月30日「コンクリート構造物の配筋探査技術者(土木)資格認証学科(一次)試験」が実施された。受験者情報は表のとおり。

また、2024年後期からの受験地は、関東・関西のみとし九州では実施しない。

【講習会開催情報】

インフラ調査士講習会 [教育部会]		
4月12日	オンライン (Zoom) のリアルタイム講習会	受講者 71名
配筋探査講習 [教育部会]		
4月1日～4月22日	オンデマンド講習	受講者 81名
非破壊検査基礎講習会 [機材支部計測分科会]		
4月18日～19日	日本溶接技術センター(川崎市川崎区)	受講者 24名

学科(一次)試験結果						
	関東	関西	九州	受験者合計	合格者	合格率
新規受験	63名	59名	22名	144名	116名	81%

実技(二次)試験日程予定			
受験地	関東(川崎市)	関西(大阪市)	九州(北九州市)
実技(二次)試験	8月27日～29日	8月20日～22日	7月30日

サンコウの測定器・検査機器

非接触膜厚計コートマスター FLEX

◆ウェット／乾燥状態のコーティング層を非接触で測定可能！



SANKO 株式会社サンコウ電子研究所

東京：03-3254-5031 大阪：06-6881-1230 仙台：022-292-7030
名古屋：052-915-2650 福岡：092-282-6801

URL <https://www.sanko-denshi.co.jp>

InspectionWorks
Solutions start here...
工業用内視鏡製品

Real3D 計測技術 (きず認識サポート)

デジタル・CR/DR製品
FS50B CRxVision
DICONDE準拠
DXR75P,100P,140P CRxFlex

Waygate Technologies
a Baker Hughes business
超音波製品

USM100& USM100 PRO

CT製品
X|Approver
X線CT-バッテリー自動/判定ソフトウェア(ADR)

IW Insight
InspectionWorks

Baker Hughes 日本ベーカーヒューズ株式会社
Waygate-tech.com/jp ウェイゲート・テクノロジーズ非破壊検査機器事業本部
メール: JapanComm@bakerhughes.com

非破壊検査機器の販売・修理・校正・レンタル



工業X線発生装置 超音波探傷器 USM100 超音波厚さ計 DM5E

支える、の一番近くに。

RIKOH-S 理工サービス株式会社

〒733-0035 広島市西区南観音6丁目3番10号
TEL: (082)292-2552 (代) FAX: (082)295-0566
E-mail: rikoh@rikoh-s.com URL: <https://www.rikoh-s.com/>



RYOSHO 超音波探傷器

◎標準機能からRタイプ機能まで幅広いニーズに対応。
◎「中小企業等経営強化法の適用」で税制措置を受けることができます。

UI-S9

UI-R1

Rsec 菱電湘南エレクトロニクス株式会社
〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎25番地
TEL 0467-45-3411 FAX 0467-44-7517
URL <http://www.rsec.co.jp>
E-mail: info@rsec.co.jp

VIEWWORKS 巻き付け可能な屈曲タイプ バンドブル産業用X線検出器

VIVIX-V 1025B

バンドブル(屈曲タイプ)産業用X線検出器

- 巻き付け可能なバンドブル仕様
- Flexible a-Si TFT
- 画素サイズ: 99μm
- 有効画素数: 988 × 2524 mm

VIVIX-V 1043B

バンドブル(屈曲タイプ)産業用X線検出器

- 巻き付け可能なバンドブル仕様
- Flexible a-Si TFT
- 画素サイズ: 99μm
- 有効画素数: 988 × 4316 mm



日本ビューワークス株式会社

1350064 東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24 ビル 4 階
TEL 03-5579-6516 www.viewworks.co.jp